

長野県革新懇ニュース

2021年12月号
発行日12月10日
会費 2,000円
購読料 3,000円(送料込)
振替 00510-3-15971



発行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会
(長野県革新懇) 発行人: 山口光昭 編集長: 高村裕
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内
TEL: 026-234-1231 FAX: 026-234-2219 メール: mail@nagano-kakushinkon.com

====今号の主な記事====

- 1面 青木裕子さんインタビュー
- 2面 1面続き、「近現代信州の歴史回廊」小平千文さん
- 3面 「衆議院選挙の結果について」他
読者の声、漢字パズル
- 4面 雨よ降れ「親ガチャ」に思う 窪島誠一郎さん
写真で辿る信州と戦争「戦争に協力させられる市民」北原高子さん
映画評論『これは君の闘争だ』 内山到さん

長野県革新懇

検索



軽井沢朗読館

朗読の魅力、面白さを

多くの人に知ってほしい

あおき ゆうこ
青木 裕子 さん

(一般社団法人軽井沢朗読館 館長・軽井沢町立図書館 顧問兼名誉館長)

人生の数々の失敗を朗読に乗せて伝える

Q 朗読館を始められた動機をお話ください。

NHKに就職してから37年間ずっとアナウンサーをしてきましたが、その間にはいろんな喜怒哀楽がありました。すごく辛いことがあった時、それを心の中に留めておいて過ごせるかというと、苦しいですよ。そんな時に、何かに託してその気持ちを表現し、和らげたいと思うことがあります。

1950年福岡県生まれ。1973年NHKに入局。一貫して現場でアナウンサーを勤める。NHK総合テレビ「スタジオ102」のキャスター担当に始まり、「NHKニュースワイド」「おはようジャーナル」「くらしのジャーナル」などでキャスターやリポーターをつとめ、テレビ・ラジオで活躍。2010年6月の定年退職を機に軽井沢朗読館を私費で設立。2013年1月より軽井沢町立図書館館長。2020年4月より顧問兼名誉館長。その他にも数々の取り組みを手がける。日本文藝家協会会員。著書「再婚トランプ」(朝日新聞社):1998年TBSの昼の連続ドラマ「再婚トランプ」の原作、「軽井沢朗読館だより」、近著は「朗読ワークショップ」(アーツアンドクラフツ)。

朗読の魅力を発信する図書館をめざす

Q 図書館長になられた経緯をお話ください。

実は、私はあまり図書館長には向いていないと思うんです。図書館に仕上げ通っていたわけでもないし、人よりも本を読んでいるわけでもありません。ただ、こちらに来て朗読会を開いて、3年経っていたので、それを町の方が見ていたのか、「新しい軽井沢町立の図書館が駅にできるから、館長やしませんか」というお話をいただきました。一番びっくりしたのは私です。しかし、是非というお話でしたので、窪島誠一郎さんをはじめ何人かの方に相談したところやるべきだということでしたので、お引き受けした次第です。

2010年6月の定年退職を機に軽井沢朗読館を私費で設立。2013年1月より軽井沢町立図書館館長。2020年4月より顧問兼名誉館長。その他にも数々の取り組みを手がける。日本文藝家協会会員。著書「再婚トランプ」(朝日新聞社):1998年TBSの昼の連続ドラマ「再婚トランプ」の原作、「軽井沢朗読館だより」、近著は「朗読ワークショップ」(アーツアンドクラフツ)。

朗読会の在り方に決まった形はない

Q 朗読会はどんな形式で行なうのですか？

朗読会では文学作品を朗読することに重きを置いていきます。一口に朗読と言ってもその幅が広くて、人にある文章を伝えようと思つて読めば、それは朗読なわけです。だから、人によってやり方が全然違うし、目的によっても全然違うので、朗読会とはこんなものだという事は言えません。日本語を喋る人が百人百様なように朗読会の方も全部違うわけです。

今コロナで制限していますが、基本はここを拠点に朗読会の活動を行なっています。

社会派の番組を次々に世に問うた

Q NHK時代の思い出で印象に残っていることは？

はじめは、お天気お姉さんとかニュースのお姉さんとかいうことをやっていて、しばらくアナウンサーはアナウンサーだけでいいよという時代が続きまして。しかし、私が40歳の頃からNHKもだいぶ方針が変わってきて、自分でレポートを作って放送してもいいよということになり、いろんな社会派の番組を作るようになりました。その中で私が作った二つの番組が印象に残っています。

今コロナで制限していますが、基本はここを拠点に朗読会の活動を行なっています。



朗読する青木裕子さん